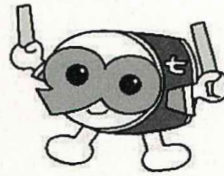


# 校長室だより



令和2年4月27日  
校長 齋藤 瑞穂

4月も最後の週になりました。例年なら、ゴールデンウィークの連休を前に、なんとなく気持ちがウキウキワクワクする頃ですね。今年はむしろ、休校の終わりが近づいて、学校再開への期待が高まっているところでしょうか？私もあと少しで元気みなさんに会えるかと思うと、気持ちが明るくなってきます。あと10日、気をゆるめず「三密」を避けて過ごしましょう。

人よりほんの少し努力するのが辛くないこと  
人よりほんの少し簡単にできること——  
みなさんの「得意」はなんですか？

## 「得意」なことにしがみつけ！

4月第1週から始まったNHK朝の連続テレビ小説「エール」。私は録画して観ているのですが、その中で強く心に残る言葉がありました。

みなさんもよく知っている、高校野球大会のテーマソング「栄冠は君に輝く」などを作曲した古関裕而をモデルとした主人公、古山裕一の小学生時代。裕一は、代々続く呉服屋の跡取り息子ですが、気弱でこれといったとりえがなく、そのためにオドオドした態度でガキ大将たちから邪険に扱われていました。ところが、ある日、担任の藤堂先生は、ひょんなことから裕一の非凡な音楽の才能に気が付きます。先生は、そのことを裕一の両親に告げに来て、裕一にもこう話すのです。

「人よりほんの少し努力するのが辛くなくて、ほんの少し簡単にできること、それがおまえの得意なものだ。」

「それが見つければしがみつけ。必ず道は開く。」  
（「エール」4月5日放送分より）

先生のこの言葉で、裕一は音楽という自分の「得意」を自覚し、それに熱中していくことで才能を開花させ、少しずつ自信を付けていくのです。

## 藤の花が満開です

杉七小の自慢のひとつ、北門の藤の花がきれいに咲いています。色と言い垂れ下がる様子と言い、なんともいえない美しさがありますね。



藤の花は日本古来の花で、国語で学習する古典文学にも登場します。「枕草子」の「木の花は」にも、

藤の花は、しなひ長く、色濃く咲きたる、いとめでたし。

（藤の花は、花房がしなやかに長く垂れ下がり、色濃く咲いているものが、実にすばらしい。）

とあるように、1000年以上昔の人々もその美しさを好んでいたのですね。

また、藤はマメ科の植物で、つるが右巻き（上から見て時計回り）のものと左巻き（上から見て時計回り）のものがあるとか。杉七小の藤は、はたしてどちらでしょう。学校が始まったら、ぜひ調べてみてください。

## 保護者の皆様

休校期間も残すところ10日ほどとなりました。子供たちも少し気持ちが緩んできているのではないのでしょうか。油断は禁物です。予定通り学校再開できるよう、あともう少し、休校中の約束を守って生活するように励ましていただければと思います。杉七小は、学校再開に向け、年間計画をまて直しているところです。子供たちが安全に、なおかつ学年の学習目標をしっかりと達成できるよう、行事の大幅な削減・変更もしていかなければなりませんが、どうかご理解の上、ご協力くださいますよう、お願いいたします。